

意見書案第 11 号

ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成28年12月22日

福岡市議会

議長 おばた 久 弥 様

提出者 福岡市議会議員

堤 田 寛

打 越 基 安

浜 崎 太 郎

三 角 公仁隆

近 藤 里 美

調 崇 史

楠 正 信

とみなが 正博

倉 元 達 朗

田 中 丈太郎

阿 部 真之助

山 口 剛 司

森 あや子

中 山 郁 美

ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書

本年8月、東京メトロ銀座線青山一丁目駅で、盲導犬を連れた視覚障がい者の男性がホームから転落し、列車と接触して死亡するという大変痛ましい事故が発生しました。また、その対策に動き出していた矢先の10月には、近鉄大阪線河内国分駅でも、視覚障がい者の男性がホームから転落して死亡する事故が発生しています。

駅ホームの安全対策の観点から、列車との接触や転落防止に効果が高いホームドアの設置は急務です。全国の約9,500駅のうち、ホームドアが設置されているのは、平成28年3月末現在で僅か665駅に過ぎません。また、1日に10万人以上が利用する全国の251駅のうち、ホームドアが設置されているのは3割程度の77駅にとどまっています。

あわせて、視覚障がい者がホームの内側をつえや足で判別できる「内方線付き点状ブロック」の整備も重要です。現在、1日の利用者数が1万人以上の駅で整備が進められていますが、全ての駅において整備が進められるべきです。

よって、福岡市議会は、政府が、視覚障がい者を始め、駅の利用者が安心してホームを利用できるよう、ハード、ソフト両面における総合的な転落事故防止対策の検討を急ぐとともに、駅ホームの更なる安全性向上に向け、次の事項について取り組まれるよう強く要請します。

1 ホームドアの設置については、全ての駅ホームの危険箇所の実態調査を速やかに行うこと。

とりわけ、転落の危険性が高い駅は、現在計画中の駅と併せて速やかな設置を実現すること。

2 「内方線付き点状ブロック」の整備については、全ての駅での整備を促進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成 年 月 日

内閣総理大臣、国土交通大臣 宛て

議 長 名